

Consciousness and Dressing Tendency to Self Physique of Female University Students

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-03-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中村, 邦子, 大塚, 美智子 メールアドレス: 所属:
URL	https://otsuma.repo.nii.ac.jp/records/5776

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



女子大生の自己体型への意識と着装傾向

中村邦子¹⁾・大塚美智子²⁾

¹⁾大妻女子大学短期大学部, ²⁾日本女子大学家政学部

Consciousness and Dressing Tendency to Self Physique of Female University Students

Kuniko Nakamura and Michiko Ohtsuka

Key Words: 女子大生, 体型, 意識, アンケート調査, 身体計測値

1. 諸言

日本人若年女性のプロポーションは時代とともに向上し、さらに、からだつきへの意識は高まり、理想も高くなっている。特に若年女性の意識に極端な瘦身願望が内在する今日、体型に対する若年女性の意識を捉え、その要因を究明することには意義がある。本研究では、自己の体型に対する満足度や、自己の身体を不満に思う女性たちが、何を不満に思っているかを把握することを目的に、美容、ファッション等への興味や美意識の高い女子大生を対象に、体型に関する意識調査を実施し、身体計測値と合わせて分析を行った。

若年女性の体型に関する意識と着装に関する調査、身体計測による体型データを合わせて分析することにより、個々の体型特徴と意識の関連性について検討した。

2. 方法

まず、意識調査対象の学生 101 名のマルチン法による計測値と、HQL データの平均値の比較を行い、調査対象者の体型特徴を把握した。計測項目と意識調査に用いた項目の対応を示したものが表 1 で、意識調査項目には日常的に使う用語を用いた。

着装の工夫についての意識調査項目は、表 2 に示す通り、上衣または全体、首周り、胸、腕部分のデザインについて、「体型が気になるが着る」、「気になるので着ない」から 2 者択一してもらった。体型の客観評価は、表 3 に示す通り、身体部位ごとに客観的に、他者と比較してどう感じているか、身長、体重、バストなど 17 項目について 4 段階評価を行った。体型の満足度については、自身の満足度を同じく 17 項目について、「満足、ほぼ満足、少し不

満、非常に不満」の 4 段階で評価してもらった。

次に、身体計測値やアンケート回答の関係をみるために、着装傾向に関する 36 項目について、主成分分析を施した。

表 1 質問項目、計測項目対応表

番号	使用した質問項目	計測データ項目	
1	身長	身長	
2	体重	体重	
3	バスト	乳頭位胸囲	
4	バストポイント	右乳頭高	
5	ウエストサイズ	胴囲	腹囲
6	ヒップサイズ	腰囲	
7	ヒップポイント	殿高	
8	肩幅	背肩幅	
9	腕の太さ	右上腕最大囲	
10	腕の長さ	右袖丈	
11	顔の大きさ	身長-オトガイ高	
12	首の太さ	頸付け根囲	
13	首の長さ	—	
14	脚の長さ	大転子高	
15	太ももの太さ	右大腿最大囲	
16	ふくらはぎの太さ	右下腿最大囲	
17	足首の太さ	右下腿最小囲	

表 2 着装の工夫についての意識調査項目例

上衣 / 全体	
1. ぴったりフィットした T シャツ等	体型が気になるが着る・気になるので着ない
2. 薄い・薄い色の T シャツ等	体型が気になるが着る・気になるので着ない
3. ポンチョ等シルエットが大きくなる服	体型が気になるが着る・気になるので着ない
4. 大きめゆったりサイズの T シャツ等	体型が気になるが着る・気になるので着ない
5. ゆったりしたワンピース	体型が気になるが着る・気になるので着ない
6. 露出の多い服	体型が気になるが着る・気になるので着ない
首周り	
7. タートル・ハイネック	体型が気になるが着る・気になるので着ない
8. 首周りが開いた服	体型が気になるが着る・気になるので着ない
胸	
9. 胸元が広く開いた服	体型が気になるが着る・気になるので着ない
10. 胸の形のわかるぴったりした服	体型が気になるが着る・気になるので着ない
腕	
11. 肩が大きく強調される服	体型が気になるが着る・気になるので着ない
12. 腕周りがぴったりフィットした服	体型が気になるが着る・気になるので着ない
13. ノースリーブの服	体型が気になるが着る・気になるので着ない
14. パフスリーブの服	体型が気になるが着る・気になるので着ない
15. チューブトップやベアトップの服	体型が気になるが着る・気になるので着ない

表 3 体型の客観評価の意識調査項目例

質問 A あなたの身体について部位ごとに、客観的に、他者と比べてどうであると思うか、それぞれお答えください。(※謙遜せずに、できるだけ客観視してお答えください)	
1. 身長 (高い・どちらかといえば高い・どちらかといえば低い・低い)	
2. 体重 (身長にしては重い・どちらかといえば重い・どちらかといえば軽い・軽い)	
3. バスト (大きい・どちらかといえば大きい・どちらかといえば小さい・小さい)	
4. バストポイント (高い・どちらかといえば高い・どちらかといえば低い・低い)	
5. ウエストサイズ (大きい・どちらかといえば大きい・どちらかといえば小さい・小さい)	
6. ヒップサイズ (大きい・どちらかといえば大きい・どちらかといえば小さい・小さい)	
7. ヒップポイント (高い・どちらかといえば高い・どちらかといえば低い・低い)	
8. 肩幅 (大きい・どちらかといえば大きい・どちらかといえば小さい・小さい)	
9. 腕の太さ (太い・どちらかといえば太い・どちらかといえば細い・細い)	
10. 腕の長さ (長い・どちらかといえば長い・どちらかといえば短い・短い)	
11. 顔の大きさ (大きい・どちらかといえば大きい・どちらかといえば小さい・小さい)	
12. 首の太さ (太い・どちらかといえば太い・どちらかといえば細い・細い)	
13. 首の長さ (長い・どちらかといえば長い・どちらかといえば短い・短い)	
14. 脚の長さ (長い・どちらかといえば長い・どちらかといえば短い・短い)	
15. 太ももの太さ (太い・どちらかといえば太い・どちらかといえば細い・細い)	
16. ふくらはぎの太さ (太い・どちらかといえば太い・どちらかといえば細い・細い)	
17. 足首 (太い・どちらかといえば太い・どちらかといえば細い・細い)	
18. 足首 (太い・どちらかといえば太い・どちらかといえば細い・細い)	

3. 結果および考察

意識調査対象の学生の計測値と 2004~2006 年の HQL データの平均値を比較した。結果は、表 4 に

示す通りである。

11 の身長-オトガイ高は計算項目で HQL データには平均値のみの表示になっている。身長、体重、乳頭囲胸囲など 9 項目は差が 1 cm より小さく、平

表 4 若年女性の計測値と HQL データの比較

計測項目	(A) アンケート回答者			(B) HQL データ			平均値の差 (A) - (B)	t 検定
	平均値 (cm)	SD	n (人)	平均値 (cm)	SD	n (人)		
1 身長	158.71	5.6	101	158.5	5.31	750	0.21	
2 体重 (kg)	51.04	7.1	97	50.8	6.54	750	0.24	
3 乳頭位胸囲	82.34	4.95	101	81.7	5.46	748	0.64	
4 右乳頭高	114.91	4.72	101	113.5	4.56	749	1.41	**
5 胴囲	65.04	5.05	101	67.3	5.48	750	-2.3	**
5 腹囲	71.47	5.76	101	75.7	6.86	750	-4.23	**
6 腰囲	90.39	5.25	101	89.4	4.65	750	0.99	**
7 殿高	78.69	4.45	101	78	3.59	748	0.69	
8 背肩幅	39.25	2.25	101	37.3	1.99	751	1.95	**
9 右上腕最大囲	26.18	2.42	101	26.4	2.12	750	-0.22	
10 右袖丈	54.08	3.18	101	53.2	2.26	750	0.88	
11 身長-オトガイ高	22.44	1.9	101	21.4			1.04	
12 頸付け根囲	37.78	1.73	100	35.7	1.71	751	2.08	**
14 大転子高	81.97	4.33	101	80.5	3.72	750	1.47	**
15 右大腿最大囲	53.09	3.77	101	53.1	3.76	742	-0.01	
16 右大腿最大囲	34.4	2.72	100	34.3	2.2	751	0.1	
17 右大腿最小囲	21.82	1.49	101	20.5	1.13	750	1.32	**

ただし、胴囲は、両者の計測法が異なる。** $p < 0.01$

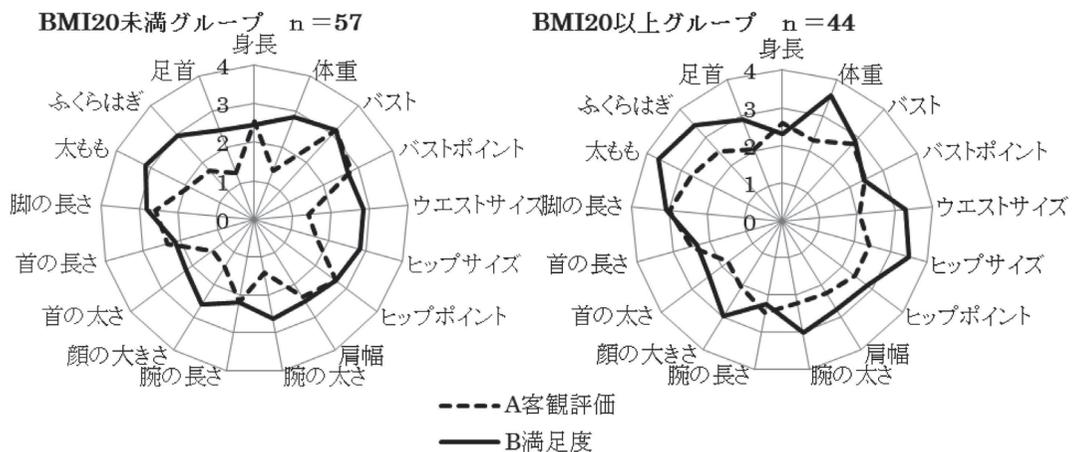


図 1 客観評価と満足度の平均値

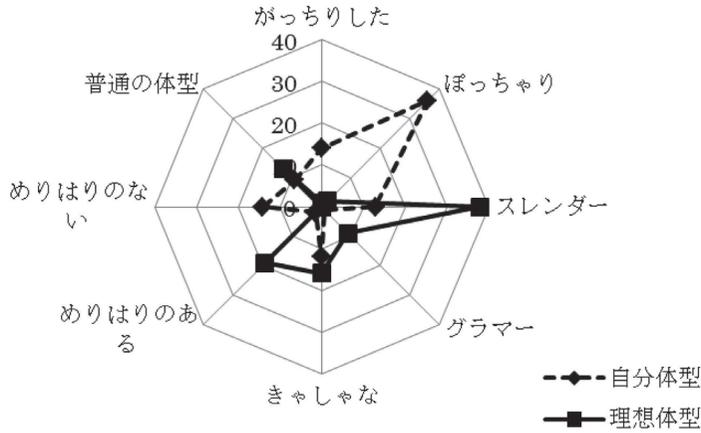


図 2 自己認識体型と理想体型の差

表 5 自己認識体型と理想体型のクロス集計表 (n=243)

										(%)
理想体型 \ 自己体型	がっちり	ぼっちゃり	スレンダー	グラマー	きゃしゃな	めりはりのある	めりはりのない	普通	総計	
	がっちりした	0.00	2.06	6.19	2.06	2.06	1.03	0.00	1.03	14.43
ぼっちゃり	0.00	0.00	12.37	3.09	10.31	5.15	0.00	5.15	36.08	
スレンダー	0.00	0.00	7.22	1.03	0.00	2.06	0.00	1.03	11.34	
グラマー	0.00	0.00	1.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.03	
きゃしゃな	0.00	0.00	4.12	1.03	0.00	4.12	0.00	3.09	12.37	
めりはりのある	0.00	0.00	1.03	1.03	0.00	0.00	0.00	0.00	2.06	
めりはりのない	0.00	0.00	5.15	1.03	2.06	7.22	0.00	1.03	14.43	
普通	0.00	0.00	2.06	0.00	2.06	2.06	0.00	2.06	8.25	
総計	0.00	2.06	39.18	9.28	16.49	21.65	0.00	13.40	100.00	

均値の差異が± 1.0 cm 以上の項目について t 検定を行い、右乳頭高、胴囲、腹囲、腰囲、背肩幅、頸付け根囲、大転子高、右下腿最小囲の 8 項目については 2 つのグループ間の差があることが示された。

図 1 は、自己の身体部位 17 項目について、自己に対する客観評価と満足度の 4 段階評価の結果を、肥瘦度を表す指数である BMI 数値別に、レーダーチャートで表したものである。客観評価は、中央の 1 が高い、長い、細いとなり、チャートの外側に行くにつれ低い、短い、太いという評価になり、中心に近いほど、優位なスタイルを表す。満足度は、点

数が高い外側ほど、不満足であることを表わす。今回調査した計測値の平均 BMI は、20.23 であったので、20 を境に BMI 20 未満グループと 20 以上グループで、チャートの比較をした。チャートを比較すると、BMI 20 未満グループでは、17 項目のうち太ももの太さやふくらはぎ、ウエスト、ヒップなど他者と比べて細いとしているにもかかわらず、満足度は低いと言える。BMI 20 以上のグループでは、全体的に体重やウエスト、ヒップなど太さ項目の満足度が低いと言える。体重とウエスト、ヒップ、腕の太さ、顔の大きさ、太もも、ふくらはぎ、足首と

表 6 「体型が気になるので着ない服」「気になるが着る服」一覧表

項目	気になるので着ない(人)	項目	気になるが着る(人)
6 露出の多い服	50	1 ぴったりフィットした T シャツ等	42
13 ノースリーブの服	46	25 ショートパンツ	36
26 超ミニのスカート、ショートパンツ	45	23 ミニスカート	35
15 チューブトップやベアトップの服	38	27 スキニーデニム等ぴったりしたパンツ	33
20 背中をあいた服	31	33 脚を出した服装	25
21 ヒップラインが出るパンツ等	31	18 お腹周りのシルエットが出る服	24
18 お腹周りのシルエットが出る服	29	12 腕まわりがぴったりフィットした服	23
27 スキニーデニム等ぴったりしたパンツ	28	35 ヒールの低い・ない靴	23
9 胸元が広く開いた服	27	21 ヒップラインが出るパンツ等	22
10 胸の形がわかるぴったりした服	26	31 柄のタイツやレギンス	22
11 肩が大きく強調される服	25	2 淡い、薄い色の T シャツ等	21
12 腕まわりがぴったりフィットした服	20	5 ゆったりしたワンピース	20
1 ぴったりフィットした T シャツ等	18	4 大きめ、ゆったりサイズの T シャツ等	18
25 ショートパンツ	18	10 胸の形がわかるぴったりした服	18
32 明るい・薄い色のタイツやレギンス	18	8 首周りが開いた服	17
33 脚を出した服装	18	24 ハーフパンツ	17
31 柄のタイツやレギンス	17	13 ノースリーブの服	16
7 タートル、ハイネック	14	17 ウエストが締まったデザイン	16
23 ミニスカート	14	9 胸元が広く開いた服	15
36 足にフィットするブーツ	14	14 パフスリーブの服	15
14 パフスリーブの服	11	16 ハイウエストのスカートやパンツ	15
19 ローライズのスカートやパンツ	11	28 ゆったりした幅のパンツ	15
24 ハーフパンツ	11	3 ポンチョ等シルエットが大きくなる服	14
3 ポンチョ等シルエットが大きくなる服	10	19 ローライズのスカートやパンツ	13
16 ハイウエストのスカートやパンツ	9	26 超ミニのスカート、ショートパンツ	13
5 ゆったりしたワンピース	8	34 ヒールの高い靴	13
8 首周りが開いた服	8	6 露出の多い服	12
17 ウエストが締まったデザイン	7	32 明るい・薄い色のタイツやレギンス	12
29 オーバーオール、サロペット	7	7 タートル、ハイネック	11
34 ヒールの高い靴	7	11 肩が大きく強調される服	10
2 淡い、薄い色の T シャツ等	6	22 フレアスカート	10
35 ヒールの低い・ない靴	6	29 オーバーオール、サロペット	10
4 大きめ、ゆったりサイズの T シャツ等	4	30 ロングスカート	9
30 ロングスカート	4	36 足にフィットするブーツ	9
22 フレアスカート	2	15 チューブトップやベアトップの服	3
28 ゆったりした幅のパンツ	2	20 背中をあいた服	3

いった周径項目で、不満が大きいと言える。

一方、両者とも身長、腕の長さ、頸の長さの長さ項目は、満足度が高い結果であった。

図 2 は、認識している自己体型と、自身の理想の体型を、「ぽっちゃり」「スレンダー」などの 8 種類の言葉から、それぞれ最大 3 回答まで選択した結果である。自己体型と理想体型の回答には、大きな差異がみられ、自己体型を「ぽっちゃり」、「メリハリがない」と評価し、「メリハリがある」、「スレンダー」、「華奢な」体型を理想とする、自己にない要素や逆の要素を求める傾向があると考えられる。

自己認識体型と理想体型をクロス集計した結果が表 5 に示したもので、「(自己) 体型がグラマー」との回答者の理想は、「メリハリがある」の割合が大きく、「(自己) 体型は華奢」との回答者の理想は、「メリハリがある」が最も多く、「普通」を望む割合が他と比較して大きいと言える。「(自己) 体型は、めりはりがある」との回答者の理想は、「スレンダー」との回答の割合が大きいという結果であった。

また、体型が気になる服装について服のデザインごとの回答を集計したものを表 6 に示す。「気になるので着ない」のは、露出の多い服、ノースリーブ、ミニスカート、ショートパンツ、チューブトップ、ベアトップなど「気になるが着る」ものとしてぴったりフィットした T シャツ、ショートパンツ、ミニスカート、スキニーデニム、脚を露出した服装などがあげられた。

一方、「気になるので着ない」と回答が多かった、露出の多い服、ノースリーブ、超ミニスカートは「気になるが着る」との回答も少数ながらあり、「気になるが着る」との回答が多かったぴったりフィットした T シャツ、ショートパンツ、スキニーデニムなどは「気になるので着ない」の回答も多く自己の体型を意識しながらも流行やおしゃれを楽しむ傾向があると言える。

さらに、着装傾向についての主成分分析を行い、第 7 主成分までの解釈を行った。表 7 に、固有値、累積寄与率を、表 8 に主成分負荷量表を示す。

第 1 主成分は、0.5 以上の高い相関を示す項目が 11 項目あり、「17 ウエストが締まったデザイン」、「36 脚にフィットするブーツ等」洋服のシルエットについての項目が多くあり、第 1 主成分は「洋服のシルエットを表す因子」とであると解釈した。第 2 主成分は「26 超ミニのボトム」、「20 背中を開いた服」、「6 露出の多い服」はすべて身体の部位を露出

表 7 主成分負荷量

	固有値	寄与率	累積寄与率
主成分 No. 1	7.011	0.195	0.195
主成分 No. 2	3.303	0.092	0.286
主成分 No. 3	2.652	0.074	0.36
主成分 No. 4	1.944	0.054	0.414
主成分 No. 5	1.568	0.044	0.458
主成分 No. 6	1.499	0.042	0.499
主成分 No. 7	1.321	0.037	0.536

する服装の項目で、また 0.4 以上の相関を示す項目も「13 ノースリーブ」、「15 チューブトップ・ベアトップ」となっており、同様に身体の露出が多い服装であることが分かる。-0.4 以下の負の相関が高い項目は、「3 シルエットが大きくなる服」、「30 ロングスカート」と、身体を覆う面積の大きい衣服であり、このことから、第 2 主成分は「身体の露出を表す因子」とであると解釈した。同様に、第 3 主成分は「若々しい服装」と解釈した。

各因子を解釈した結果、第 1 主成分は、「服のシルエット」、第 2、「身体の露出」、第 3、「若々しい服装」、第 4、「服装の男性らしさ、女性らしさ」、第 5、「身体部位へのフィット」、第 6、「胴囲・腹囲への意識」、第 7、「上半身への意識」と解釈した。

以上から、現代若年女性の着装に影響を与える因子は大別すると、シルエット、露出度、若さ、性別であり、また、身体への意識としては、特に下半身に着目した、身体の太さに対する満足度、客観評価の低さが、大きな因子であると考察した。

以上の体型分析、アンケート調査の解析、主成分分析の結果から、女子大生にとって最も満足度が低く、着装行動に影響を与える身体の意識は「太さ」に関するもので、特に「脚」の太さは身体の中で最も関心がある部位であるといえる。この、脚への強い関心は、脚を露出するファッションを好む傾向があることが影響していると考えられる。自己の「脚」への評価や満足度は非常に低いが、「脚を露出した着装をする」、という回答が多く、現代若年女性の、好きなファッションをすることへの意志の強さが示された。

また、認識する自己体型と逆の要素を持つ体型を望み、自己体型と理想体型との間に大きな差があると説明できる。

表 8 主成分分析因子負荷量

主成分負荷量	主成分 No. 1	主成分 No. 2	主成分 No. 3	主成分 No. 4	主成分 No. 5	主成分 No. 6	主成分 No. 7
1 ぴったりした T シャツ等	0.185	0.375	-0.247	0.045	0.121	0.294	-0.330
2 淡い・薄い色	0.466	-0.277	0.085	0.219	-0.030	-0.144	-0.205
3 シルエットが大きくなる服	0.513	-0.486	0.034	0.305	-0.148	-0.059	-0.018
4 ゆったりサイズ T シャツ等	0.469	-0.210	0.010	0.528	0.047	0.253	0.100
5 ゆったりワンピース	0.389	-0.334	-0.075	0.473	0.190	0.059	0.088
6 露出多い服	0.219	0.509	-0.067	0.167	-0.387	-0.049	-0.008
7 タートルネック	0.359	-0.094	0.091	0.073	0.590	0.052	-0.161
8 首周りが開いた服	0.382	-0.303	-0.424	0.175	-0.112	0.056	-0.190
9 胸元が開いた服	0.249	0.358	-0.497	0.159	-0.090	-0.310	0.005
10 胸の形分かるぴったりした服	0.227	0.344	-0.582	0.262	-0.038	-0.356	-0.053
11 肩が強調される服	0.234	0.361	0.047	0.068	-0.437	0.232	-0.294
12 腕周りがフィットした服	0.377	0.295	-0.086	-0.041	0.378	0.103	0.185
13 ノースリーブ	0.425	0.434	0.128	0.179	0.032	0.070	0.370
14 バフスリーブ	0.408	-0.172	-0.174	-0.520	-0.144	0.039	0.008
15 チューブトップ・ベアトップ	0.277	0.423	-0.200	0.167	-0.161	0.224	0.323
16 ハイウエストのボトム	0.538	-0.015	-0.024	-0.276	-0.073	-0.136	0.458
17 ウエストが締まったデザイン	0.622	-0.073	-0.260	-0.261	-0.263	0.393	0.116
18 お腹周りのシルエットが出る服	0.404	0.316	-0.182	-0.062	0.244	0.411	-0.294
19 ローライズ	0.550	0.007	-0.320	-0.137	0.097	0.255	-0.209
20 背中が開いた服	0.296	0.534	-0.268	-0.016	0.226	-0.317	-0.090
21 ヒップラインの出るボトム	0.366	0.298	0.005	0.053	0.213	-0.236	0.252
22 フレアスカート	0.585	-0.160	-0.163	-0.455	-0.019	0.048	0.018
23 ミニスカート	0.447	0.190	0.462	0.040	-0.086	0.171	-0.130
24 ハーフパンツ	0.634	0.035	0.298	0.107	0.055	-0.277	-0.348
25 ショートパンツ	0.470	0.098	0.607	0.132	-0.104	-0.074	-0.045
26 超ミニのボトム	0.265	0.545	0.271	0.184	-0.100	-0.035	0.057
27 スキニーデニム	0.454	0.201	0.331	-0.024	0.333	0.072	0.089
28 ゆったり幅のパンツ	0.559	-0.349	-0.033	0.085	-0.219	-0.007	0.081
29 オーバーオール・サロペット	0.590	-0.207	-0.045	-0.098	-0.009	-0.242	-0.078
30 ロングスカート	0.593	-0.415	-0.051	0.119	0.094	-0.048	0.033
31 柄のタイツやレギンス	0.437	0.049	0.334	-0.212	-0.054	0.002	-0.134
32 明るい・薄い色のタイツ	0.330	0.152	0.309	-0.416	0.068	-0.361	-0.187
33 足を出した服装	0.418	0.255	0.372	-0.078	-0.291	0.001	-0.004
34 ヒール高い靴	0.343	-0.015	-0.439	-0.198	-0.046	-0.226	-0.092
35 ヒール低い・ない靴	0.528	-0.380	0.035	0.105	-0.159	-0.168	0.056
36 足にフィットするブーツ	0.618	-0.109	0.007	-0.239	0.175	0.118	0.267

4. 結論

自己体型の客観評価と満足度は、BMI 値 20 未満では差が少なく、BMI 値 20 以上では両者に隔たりがあった。脚への関心が高く、満足度は低いが、脚を露出するファッションを好む傾向がある。理想体型に近い人でも身体への満足度は高くないことが示された。若年女性の着装傾向に影響を与えるのは、「シルエット」「露出度」「若々しいデザイン」「男性らしさ女性らしさ」などの因子であり、体型への客観評価・満足度には、下半身に着目、重点を置き、特に「身体の太さ」「身体の長さ」が主要な因子と言える。

引用文献

- 1) (社) 人間生活センター (HQL) 「日本人の人体寸法 データブック 2004-2006」
- 2) 中島義明, 神山進; まとう—被服行動の心理学—, 朝倉書店, 1996
- 3) 高部啓子; 衣服設計への応用を目的とした人体形態の把握と類型化, 日本家政学会誌, 59 (9): 687~697 (2008)
- 4) 鈴木, 菅原, 完甘, 五藤; 見えない衣服—下着—についての関心とその実態とその背景にある心理的効用, 繊維製品消費科学, 51 (2): (2010)
- 5) 桧垣 郁; 日本女子大学家政学部被服学科卒業論文 (2011)

Summary

The effect of body sizes to the self-satisfaction degree of wears of young women was studied. We asked them to report the level of the self-evaluations on seventeen points of their own bodies in four grades, and to answer to a questionnaire about what styles of wears are favorite irrelevant to their body sizes. From the result of the component analysis of the questionnaire, it is concluded that the fatness of bodies and the length of feet are most considerable factors to which style of wears they willingly choose.